

## コアが事例紹介

探掘業務

# ドローンで効率化

GNSS事業などのソリューションを提供する

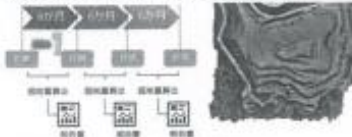
リユースソリューションを提供するコア(世田谷区)は、石灰石鉱業協会が主催する「新機械・新技術に関する講演会」に登壇した。日本版GPS「みちびき」とCLAS対応受信機搭載のドローンを組み合わせたソリューションで、鉱山・探掘業務を効率化する事例を紹介した。同社のソリューションは、CLASによる「センチメートル級精度」の位置情報がドローンで活用できる。また、位置情報をリアルタイムで写真に記録するため、空中写真測量の際に地上での標定点が不要となる。ドローン単独で正確に飛行

し、ネットワーク環境に依存しない環境下でも場内全体の点群化とオルソ

### 掘削量計測サービス

掘削量計測サービス

半年ごとにドローン測量を実施し、半年ごとの掘削量を計算



レーザー測量からドローンの測量に置き換えることで、約30%のコストダウンを実現。

画像が手軽に作成でき

機体はマルチコプターの他、垂直離着陸機(VTOL)があり、広域測量にも対応。掘削量計測サービスでは、半年ごとの掘削量を計測した場合、レーザー測量からドローンの写真測量に置き換えることで約30%のコストを削減した事例もあるという。

同社の担当者は、切羽や集積場の経時変化の記

録・工程管理への活用事例も紹介。「ドローンで定期的に向一アングルの撮影を行うことで、一目で変化を確認できる。携た。